

平成 24 年度 シラバス	学年・期間・区分	2 年次 ・ 通年 ・ A 群	
	対象学科・専攻	情報工学科	
論理回路 (Logic Circuits)	担当教員	芝 浩二郎 (Shiba, Kojiro)	
	教員室	情報工学科棟 4 階 (TEL : 42-9095)	
	E-Mail	k_shiba@kagoshima-ct.ac.jp	
	教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 履修単位 / 2 単位	
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100 分)] × 30 回		
[本科目の目標] 電子計算機ハードウェアの基本となる論理回路の解析と設計に必要な基礎知識を習得する。			
[本科目の位置付け] 3 年次の電子計算機ハードウェアを理解し, 設計するための基礎となる。			
[学習上の留意点] 授業の始めに前週の重要事項の小テストを実施する。電気回路の基礎知識が必要である。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 2進数	6	<input type="checkbox"/> 2進数 16進数による表現を理解し応用できる。 <input type="checkbox"/> 2進演算を理解し応用できる。	p.1-p.15の内容について教科書を読んで概要を把握しておく。
2. 論理演算とブール代数	10	<input type="checkbox"/> 論理関数,ブール代数,真理値表を理解し応用できる。 <input type="checkbox"/> ゲート回路と回路記号を理解し応用できる。 <input type="checkbox"/> 加法標準形と乗法標準形を理解し応用できる。 <input type="checkbox"/> カルノー図とブール代数の単純化を理解し応用できる。	p.16-p.45の内容について教科書を読んで概要を把握しておく。
---前期中間試験---		授業項目1, 2について達成度を確認する。	
3. 組合せ回路	12	<input type="checkbox"/> ゲート回路の構造理解し応用できる。 <input type="checkbox"/> デコーダを理解し応用できる。 <input type="checkbox"/> マルチプレクサを理解し応用できる。 <input type="checkbox"/> 算術演算回路を理解し応用できる。	p.46-p.58の内容について教科書を読んで概要を把握しておく。
---前期期末試験---		授業項目3, 4について達成度を確認する。	
4. ラッチとフリップフロップ	6	<input type="checkbox"/> 非同期式回路と同期式回路を理解し応用できる。 <input type="checkbox"/> フリップフロップの構成、種類、相互変換を理解し応用できる。	p.59-p.85の内容について教科書を読んで概要を把握しておく。
5. 順序回路の動作	8	<input type="checkbox"/> カウンタ,シフトレジスタ,リングカウンタ,ジョンソンカウンタの動作解析を理解し応用できる。	p.86-p.97の内容について教科書を読んで概要を把握しておく。
---後期中間試験---		授業項目4, 5について達成度を確認する。	
6. 順序回路の設計	12	<input type="checkbox"/> カウンタ,シフトレジスタ,リングカウンタ,ジョンソンカウンタの設計を理解し応用できる。	p.98-p.120の内容について教科書を読んで概要を把握しておく。
7. 記憶回路	4	<input type="checkbox"/> リードオンリーメモリ,ランダムアクセスメモリを理解し応用できる。	p.121-p.131の内容について教科書を読んで概要を把握しておく。
---後期期末試験---		授業項目6, 7について達成度を確認する。	
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違った部分を理解出来る。	
[教科書] デジタル回路演習ノート 浅井秀樹著 コロナ社			
[参考書・補助教材] 電子回路Ⅲ, ドナルド・L・シリグ/チャールズ・ビラブ著, 岡部豊比古監修, マグロウヒル			
[成績評価の基準] 中間試験および期末試験成績 (75%) + 小テスト (25%) - 授業態度 (最大 20%)			
[本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連] 3-c			
[教育プログラムの学習・教育目標との関連]			
[JABEE との関連]			

Memo